

子どもから大人、若者から高齢者に至るまでのすべての人の文化を

# 文化高知

2021年3月 NO.220



[もくじ]

- 2～3 こども劇場五十周年を迎えて…中郷千尋
- 4～5 台湾桃園日記—信じ合う家族のかたち…吉尾 寛
- 6～7 ホームブルーイングの趣味から高知のクラフトビール醸造所へ…Kenneth Mukai
- 8～9 顔ヨガで健やかな人生を…大崎あつこ
- 10 高知市民の大学 第88期の総括…田中きよむ
- 11 「アンテナ」娘と挑んだ欵ちゃんの仮装大賞…下尾 仁
- 12～13 高知市文化振興事業団1月の事業から
- 14～15 風俗歳時記・風伯

# いづも劇場 五十周年を迎えて

中郷 千尋



高知市子ども劇場は、二〇二一年一月に創立五十周年を迎えた非営利の団体です。自分たちですべての運営をしていくために会員制をとっています。

会員年齢は、四歳〜何歳でも！子どもがいてもいなくても、生の舞台を観たい、文化芸術に興味があったり、つながりながら楽しい活動をしたい、という現在約三百名の正会員と約三十名の準会員で構成されています。（〇歳〜三歳の子どもたちも参加できる舞台や体験活動もたくさんあります。）会員だけでなく、様々な個人や企業・団体にも応援していただきながら五十周年を迎えることができ

ました。

それでは五十年前、どんな形で誕生したのかを振り返りながら、今後の活動・展望を記したいと思います。

高度成長期の一九六〇年代、人々の暮らしが豊かになる一方で、地域のつながりは弱まり、子どもたちは遊び場を奪われ、社会は大きく変わっていききました。そんな中、未来を担う子どもへの育ちを考えるおとなが集い、子どもに芸術文化を届けたいと福岡から始まった児童文化運動『子ども劇場運動』が全国に拡がり、その波を受け、現在の『特定非営利活動法人高知市子ども劇場』は一九七一年一月

に『高知子ども劇場』として会員数二百五十名で誕生しました。

劇場創立十周年の一九八一年一月には第二次ベビーブーム世代が会員になったこともあり、会員数は約十倍に増加しました。

地域に根差し、目の行き届いたきめ細やかな活動を進めるため、小・中学校区、交通の便、会員数を考慮して一九八四年四月に『高知子ども劇場』は『高知東子ども劇場』『高知西子ども劇場』『高知南子ども劇場』『高知北子ども劇場』『高知中子ども劇場』と五つに分割され、五劇場の合同活動を見守る『高知子ども劇場協議会』が発

足しました。しかし、一九九三年には全ての財政が一本化されました。

創立二十五周年を迎えた一九九六年には、子どもたちの自主性・協調性の育成に努め、子どもの芸術文化活動の向上に貢献してきた功績により、高知県文化賞を受賞しました。

一九九八年十月、高知西・南・北・中子ども劇場が合併し、現在の『高知市子ども劇場』の形になりました。



主催：特定非営利活動法人 高知市こども劇場  
共催：公益財団法人 高知市文化振興事業団

# Let's 50!!

## みんなあつまれ

～高知市こども劇場 50周年記念フェスティバル～  
入場料 100円 (チケット料金は別面に)

みる まなぶ  
うなかる あそぶ

2021/5/1 SAT 2 SUN

5/1 (土) 10:00-17:40 (開場 9:40)  
5/2 (日) 10:00-16:30 (開場 9:40)

会場 高知市文化プラザがるぼーと  
7F市民ギャラリー・3Fガレリア・2F大ホール  
〒781-9529 高知県高知市九反田 2-1




活動がより継続的に社会に向けて広がりを生み、地域でのつながりや子どもの芸術文化、子どもとおとなが共に育ち合う環境をつくるという私たちの役割を社会的に明確にしたい！という思いで、二〇〇五年五月に法人格を取得し、団体としての成長が社会的信頼にも結びつくものとなりました。

創立四十周年には会員数が全盛期の六分の一に減少し、毎年加速度的に減少する会員数を見ながら「五十周年を迎えられないかも」との声も…。

そんな中でも、目の行き届いた活動をすすめ、小学四年生以上の子ども会員のメンバーで活動する『土佐チル(土佐っ子+チルドレン)』が誕生したり、劇場内外の多くの子どもたちと関わり続けた『あそびの時間』が十周年を迎え、親の心に焦点を当てる取り組みも大切にしてきました。

五十周年を迎えるにあたり、自分たちの役割を見直すために話し合いを重ね、事業を展開しようと

準備を進める中、今までの暮らしを覆す現象が起こった二〇二〇年でした。そして、こんな状況だからこそ、仲間と活動していきたいとの思いを強くしました。

十一月には京都より大蔵流茂山家を招き、『茂山狂言へ！そろりとまいろう!!』と題して、狂言公演を行いました。

今まで狂言に触れたことのない世代が、楽しさや面白さを感じられた素晴らしい公演となりました。

二〇二一年五月には『Let's 50!! みんなあつまれ』高知市こども劇場50周年記念フェスティバル』を開催予定です。

十公演とワークショップにあそびのコーナー、盛りだくさんな二日間となっておりますので、こども劇場をおもいきり楽しんでいただけたらと思います。(ボランティアアスタップも大募集！文化祭みたいな事が好きな方、事務局にお問い合わせください。)

いつまで続くかわからないコロ



執筆者

ナ禍ですが、人と人とのつながりや、何を大事に生きていきたいかを改めて考えるきっかけとなりました。

高知市こども劇場は、これからもおとなと子どもがともに成長していき、喜びやワクワクを共有していける団体でありたいと思います。

今年五十周年を迎えた『高知市こども劇場』の仲間へぜひ、お待ちしています！

なかごう ちひろ  
特定非営利活動法人高知市こども劇場 理事長

高知市こども劇場HP↓



# 台湾桃園日記 —信じ合う家族のかたち

吉尾 寛

桃園での生活が始まって二カ月ほど経った頃から、何とも言えない寂しさを感じるようになった。台湾では「悠遊卡」という交通プリペイドカードがあり、公共交通機関であればほぼ何にでも乗れ何処にでも行ける、外国人にはとても使い勝手のよいカードである。私は、週末になるとそれを使い人出の多い所によく出かけた。普通段着の台湾を知るためだ。そこで決まって目にするのが、仲睦まじい台湾の家族である。その光景は、ほぼ毎日SNSで日本にいる高齢の母や妻と連絡をとっていた私でさえも、家族への想いをかき立てるものがあった。

きっかけは中秋節の三連休（二〇一九年は九月十三〜十五日）であった。中秋の名月は日本人にも馴染み深いのが、連休までにはならない。台湾では、次に満月が出る十月初めもLINEが盛り上がる大事な節句である。私にとって中秋節といえば「月餅」である。それは、日本で食する小ぶりな焼饅頭ではなく、デコレーションケーキのような大きな月餅である。一九九二年北京の歴史研究所に長期出張する機会を得た私は、九月、西安から北京に戻るため夜行列車に乗り込もうとした。その時見送りに来ていただいた大学の教授から「これを持っていきなさい、夜食にちょうどいい」と言われて渡されたのが、デコレ



ションケーキサイズの月餅であった。結局、車中では食べきれず翌日北京の宿舎で残りをゆっくり食

べた。以来、中国の教授の心遣いと共に記憶に残った巨大な月餅。実は私は、この月餅を台湾でまた食べられると心秘かに期待していた。ところが、桃園で私が食した月餅は、日本のものとはほぼ同じで端正で小ぶりなもの、幾種類も収められている綺麗な箱入りの食品であった。まだ総統選挙の立候補者が正式に決まっていない頃で、有名な政治家、企業家が誰に月餅を贈ったか又受け取ったかがニュースで取り上げられた。台湾らしいと感じたが、しかし私が最も驚いたのは、台湾の人が中秋節に月餅よりも食べたいものがあることだった。それは〈焼肉〉である。「連休はどう過ごすの？」と何人か学生に聞くと「家で家族と焼肉（烤肉）！」とニコニコ顔の返事が返ってくる。実際、中秋節の連休中、バスから道沿いの家の前で家族と思しき人たちがワイワイとBBQしている光景を何度見たことか。以来私の頭には〈台湾の中秋節＝家族で焼肉〉とインプットされた。では何故焼肉なのか。友人に聞くと、ある年（一九八〇年代末？）の中秋節の頃、食品会社が新しい焼肉ソースを売り出しそのコマースヤル（台北の名山

陽明山で大勢が一斉にBBQする）が話題を呼んでそうだったとか。でも私には、家族と一緒に食事することを大切にする台湾の人の心があってこそと思える。

このことを更にリアルに感じさせたのが冬至であった。「湯圓」と呼ばれる食べ物がある。ホットで食べる日本の白玉善哉というところか。冬至に食べるものとして、時期になるとスーパーマーケット等に沢山置かれ、有名な甘味店には人が並ぶ。台湾の人たちはこの食べ物を含意を承知している。「湯圓」は「(全家)團圓」＝「一家団欒に通じる。寒い中、まん丸小ぶりの白い又赤い団子を世代に関係なく親子が仲良さそうに頬張る。冬至はこの日から陽光が拡がっていく日。単

身で台湾に  
来た私には  
実に羨まし  
く、いつま  
でも触れて  
いたい温か  
さが感じら  
れた。  
食事と共に  
家族の息  
づかいを感



じさせるのが、台湾の人たちのスクーターに乗る姿である。台湾に行く機会が増えた頃から、学生への台湾土産は、コンビニで買う、日本には無い柄付き又は黒・灰色のマスクと決めるようになった。

この「拘り」のマスク、その主たる使用目的は、スクーター乗りが前の車の排気ガスを吸いこむのを抑えるためである。それほど台湾ではスクーターが沢山走っている。走行車線はほぼ限定されない。出勤、通勤時間帯の交差点にはずらっと横にスクーターが並び、一斉に走り出す。

そんな風物詩ともいえるスクーター集団に私は惹かれるものがある。それは運転手が他の人を乗せて走る姿である。実際、スクーターの持ち主は同乗者のあることを想定してヘルメットを別に構えている人も多くと聞く。日本でバイクの二人乗りというと恋人同士ということになるのか。だが、台湾でそれは親子のように私は思える。母親が子供を後ろに座らせる。その子供はリュックサックを背負つ



た小学生から、親より身体が大き  
い中学生、時に高校生。更にある  
のが高齢の親子。私ぐらいの六十  
歳代後半の息子がより高齢の母親  
を後ろに乗せて走る。そして、(以  
下はあるいは違反の対象になるか  
もしれないが)三人乗り。この場  
合、往々にして父親が運転して後  
部に母親が座り、子が小さければ  
母親が抱え、大きければ父親の足  
下に立たせる。子供が大小二人い  
れば、まさに四人乗りである。日  
本でこのような事があると直ぐに  
白バイが出て来て……。ただ幸か不  
幸か、私は台湾で一度もこのケー  
スで道交法違反の逮捕の現場を見  
たことがない。因みにヘルメット  
の着用率は小さな子供でも非常に  
高い。

確かに、スクーターが絡んだ事  
故は多い。ニュースは放送コード  
の違いなのか現場、事故直後の様  
子を日本よりもつぶさに報道する。  
私は眼の前を走る親子で乗ってい  
るスクーターを見ては、「今日も  
ご安全に」と祈りつつも、SNS  
を通してでは感じる事ができな  
い台湾の家族の息づかい、しっ  
かりと信じあっている「家族の絆を  
強く感じる」のである。

帰国前、大学のある授業の中で、  
日本語を学ぶ学生に短歌を作つて  
もらった。その一首に次のものがある。  
幼い頃彼女が母親の運転する  
スクーターに乗った姿が、私に  
は思い浮かぶ。

午後の五時  
会社から帰る  
お母さん  
私に笑う  
きれいな笑顔

よしお ひろし  
一九五三年 安芸郡安田町生まれ。  
高知大学名誉教授

トには説明書、1回分の材料（私はペールエールを選択）、そしてビールを醸造・発酵し、瓶詰する器具が揃っていました。醸造用のやかん（私が準備したのは25Lのもの）と瓶（使用済みの瓶を洗って再利用）を調達しました。

初めて作ったビールは酷くて飲めたものではありませんでした。でも懲りずにまたトライしました。これには私の職歴が関係していると思います。ホームブルーイングは趣味でしたが、本業は高校の化学の教師でしたので、実験してその結果から学ぶことが好きでした。実験が失敗したときは特に学びが多かったです。ビールを作るときは毎回実験のように取り組みました。何回か作るうちにビールは飲めるものになって、友達にも分けられるようになりました。友達と一緒にビールを飲むのは楽しかったですし、ビールへの反応をみて醸造技術の上達にも繋がりました。



近所の醸造専門店も私のビール作りのスキルに大きな影響を与えました。そこではプロの醸造者が使うような材料や器具を全てホームブルーイング規模（数十リットルぐらい）で取り揃えています。ホームブルーイング初心者としてお店のレシピキットを利用して、エール、ピルスナー、ポーター、果物ビールなど、様々なスタイルのクラフトビールを探究しました。お店が扱っている材料キットを全て試し、自分自身のレシピ開発を始めました。この店の従業員は知識も豊富で醸造に関して議論も楽しみました。彼らは Maltose Falcons というホームブルーイングのサークルも紹介してくれました。

ホームブルーイングのサークルは醸造者にとってとてもいい情報源です。クラフトビール愛好家たちが集まってホームブルーイングに関するあらゆる集まりに参加します。大会、醸造所見学、イベント、ビール専門家による講演、そして沢山のテイスティングをします。サークルは毎月1～2回集まります。私は Maltose Falcons と Pacific Gravity という二つのサークルのメンバーでした。私のサークル活動の中心は、メンバーのみんなとビールを楽しんで話し合い、そこで得た知識を自分のビール作りに活用し、作ったビールをミーティングやテイスティングで味見してもらってまた話し合いをすることでした。ビール作りのスキルを上げるのに効果的で楽しい方法でした。

ホームブルーイングは私にとって趣味にすぎませんでしたが、2018年に仁淀川町に醸造所を開くと決意してからは人生が一変しました。教師をやめてプロの醸造者になることにしました。ホームブルーイングを通して、幅広い良質なクラフトビールを作る技術と自信が付きましたが、本格的な醸造について勉強する必要がありました。幸いなことに、ホームブルーイングサークルの友達がプロの醸造家たちに繋いでくれて、LA Aleworks、Golden Road、Tortugo Brewing などのロサンゼルスでの醸造所での経験を積むことができました。

2019年2月に仁淀川町へ移住し、ムカイ・クラフト・ブルーイングを2020年11月にオープンしました。建物はブルーパブ（自家醸造ビールを出すパブ）なので、醸造所ではビールを作り、併設している「ブルー・ブルー」というバーで生ビールを楽しめます。持ち帰り用のボトルも販売しています。どの種類のビールを作るか決める時に、自分のホームブルーイング経験、地元の材料を取り入れること、そしてダーク、ライト、フルーティー、モルト、フローラルなど、お客様にバラエティー豊かなクラフトビールを提供することを指針としています。当醸造所の数字シリーズのビールはボトル販売もしていて、サツマイモ入りのスタウト「17」、地元産の山椒と生姜入りのベルジャンホワイト「2410」、緑茶IPAの「439」などがあります。ブルー・ブルーでは現在7種類の生ビールを置いてありますが、常にお客様の好みを考えてビールを作っているの、これから増える予定です。クラフトビール（特にアメリカの自家製風のもの）に興味がありましたら、是非いらしてみてください。あなたがクラフトビールを楽しめるように全力でお手伝いします！

ケネス・ムカイ

1969年生まれ

アメリカ合衆国・ロサンゼルス出身

# ホームブルーイングの趣味から高知のクラフトビール醸造所へ

Kenneth Mukai

ビールは世界中の人々に親しまれているアルコール飲料です。ビールと言えば日本のラガーを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、ラガーは100種類以上あるビールの一つにすぎません。ビールの種類は色、香り、コク、苦味などの要素で分類され、「ペールエール」「スタウト」「サワー」「ベルジャンホワイト」などの名前があります。「クラフトビール」とは、大手ビール会社が大量生産するビール以外のものを指します。クラフトビールは主に100Lから2000Lまでの少量を醸造する小規模の醸造所で作られています。



ムカイ・クラフト・ブルーイングは仁淀川町にあり、日本に約300あるクラフトビール醸造所の一つです。私ケネス・ムカイは、この醸造所のヘッド・ブルワーです。私にとってクラフトビールとは、数々の美味しいビールで、様々な種類を作ることができます。クラフトビールはとにかく面白いです！そしてIPAなど（人気のクラフトビールの一種）、1種類の中でも美味しいビールが色々できます。例えば、99%同じ材料で作られた2つのIPAでも、見た目、香り、味が全く異なるものがあります。一つは濁りがありもう一つは透き通っている、一つはハーブの香りがしてもう一つはパイナップルとナシの香り、一つは苦みがありもう一つは苦み控え目、一つはアルコール4%で大量に飲んでもう一つはアルコール8%でちびちび飲むタイプ。でも両方美味しい！可能性は無限大にあります。

クラフトビールはそのまま飲むのも美味しいですが、食べ物との相性も良いです。私はクラフトビールをチリ（スープの一種）と一緒に楽しむのが好きですが、高知の食べ物との相性も良く、ペールエールとカツオのたたきの組み合わせなどが美味しいです。季節ごとにもクラフトビールの楽しみがあります。夏場に川のほとりで楽しむサッパリ系のビールや、冬に暖炉の前に座って楽しむ芳醇でスパイスの効いたビールなどがあります。クラフトビールは普段使用されないような材料を使って作ることが多く、更にクリエイティブで美味しいものがあります。例えば、私が飲んだことのあるものだとハラペーニョ（唐辛子）、ココナッツ、コーヒー、カボチャ、樫などを使ったものがあります。先にも言いましたが、クラフトビールは常に面白いです！



今となってはクラフトビールは私の人生の大部分を占めています。その経緯を説明します。

アメリカ人である私のビール作りの修行は日本の醸造家と違います。私は家でビールを作るホームブルーイング（自家醸造）でビールの作り方を学びましたが、日本ではホームブルーイングは法律で禁じられています（日本国内でアルコール度数1%以上のアルコール飲料を許可なく作るのは違法）。しかしアメリカではホームブルーイングは合法で人気があります。ホームブルーイング用品専門店もあるくらいです。私は2005年に専門店で購入した20Lを作る自家醸造キットを\$100で購入し、ホームブルーイングを始めました。キッ

# 顔ヨガで健やかな人生を

大崎 あつこ

の顔を鏡で見ながら、相手から自分はどんな感じに見えるんだろうと思う悩んだこと。顔ヨガで自分の顔をしっかりとじっくり見つめることで、表情筋の癖に気付く、そして自分のコンプレックスや生活の癖、思考の癖、全てを見つめ気付け練習をしているということがわかったのです。

「みなさん、自分のお顔は好きですか？」

私の担当する顔ヨガ市民講座は、大体この質問から始まります。どうやら多くの方は意外と自分のお顔が好きではないようです。それとも、もしかしたら大勢の前でYESと答えるのが恥ずかしいのかもしれない。いずれにしても、自信を持って好きと言える方はあまりいらっしやらないようです。

私たちは時間と重力の中で生きています。そして、時間の経過と共に心も体も成熟してくるわけですが、加齢による悩みの一つにお顔の変化があります。美容に興味のある方なら、加齢によるお顔の変化に、よりいっそう敏感に気付くでしょう。かくいう私も、加齢による顔の変化に気付いた一人です。体力があり、仕事もバリバリこなしてきた二十代。しかし時間

の経つのは早いもので、そんな二十代はあっという間に過ぎてしまいい、気付けば「いいオトナ」になっていました。お化粧も若い頃のまま。でもなんだか少しずつ違和感を感じるようになってきた頃に出会ったのが顔ヨガでした。私は二〇一〇年に高知に移住してヨガを教えていましたので、思えば顔ヨガと出会ったのは必然だったのでしょうか。直感で「これだ！」と感じました。

当時、私は持病の治療の一環でブレドニンというお薬を服用していました。ご存知の方もいらっしやると思いますが、ブレドニンの副作用のひとつにムーンフェイスという症状があります。いわゆる顔のむくみです。顔ヨガに出会った頃の私はムーンフェイスで四十代を迎え、自分の顔についてどうしたものか本気で悩んでいた頃で

した。「これだ！」と感じた私は、早速、顔ヨガのトレーニングコースを受講しました。トレーニングコースは、朝から晩まで四日間、鏡と向き合いながら、ただひたすら必死に表情筋を動かすものでした。最初は自分の顔を鏡で見ることが辛く、自分の顔に自信がありませんでした。眉毛を動かさずに目を開くこともできず、口角を上げて笑うことすらできなかったのです。私はトレーニングコースで顔ヨガを練習しながら、まるで、今までの自分の人生と向き合っているような不思議な感覚になりました。そういえば、歯並びに自信がなくて、歯を見せて笑う写真が少なかったこと。幼少期は一重の垂れ目で気弱そうに見えた自分が嫌で、必死で眉毛を上げて目を二重にしようとしていたこと。好きな人ができた時、暇さえあれば自分

普段、私たちは時間に追われて生活をしています。それぞれ違った生活があり、家族があり、仕事があり、環境があります。普段から意識のベクトルが外向けになり、自分自身の内面に意識を向けることは、ヨガの練習や瞑想をしないかぎり、ほとんどないでしょう。悲しいことや落ち込んだときに自分に意識を向けることはあるかもしれませんが、長い人生の中では、そうあまりないかもしれません。自分に意識を向け、気付いてあげること。肯定も否定もせず、ただ気付くこと。たったそれだけでお顔の表情も、心のありようも変わってくるのです。

表情筋には六十種類の筋肉があると言われています。小さくて繊細な筋肉が私たちの顔の表情を作っているのです。ですので、顔ヨガでしっかり表情筋を鍛えてあ



げれば少しずつ、お顔の表情に変化が生まれます。若々しくハツラツとした表情になり、自分に自信が持てるようになります。暗い表情もアンニュイな感じで素敵ですが、ハツラツとした表情は周りの人たちを幸せにすることもできるのです。自分を認めて肯定しながら、周りも明るくなれるなんて、顔ヨガは素敵なメソッドだと思いますか。

ところで、表情筋も老化するように、舌の筋肉（舌筋）も加齢と

共に老化します。舌が動きにくくなると滑舌が悪くなったり、食事をしつかり飲み込むことが難しくなります。また、唾液量が減り、口腔内の衛生状態を清潔に保つことが難しくなったり、口臭や虫歯の原因にもなります。顔ヨガでは舌筋を使うポーズもいくつか練習し、舌筋を鍛えていきます。

さらに、顔ヨガは脳トレの一面も持ち合わせています。私たち人間は社会生活を送っています。社会生活の中でコミュニケーションは非常に大切なものです。通常、コミュニケーションは脳で考えた思考や、感覚で感じたことを表情筋や身体で表現しています。顔ヨガでは、思考で判断する前に表情筋を動かしていきますから、普段のコミュニケーションプロセスとは逆方向にベクトルが働きます。例えば、驚いてなくても大きく目を開いたり、面白くなくても口角を上げて笑顔を作るのです。しかも、左右対象にしっかりと筋肉を動かすように練習します。このようにして顔ヨガは、思考が脳に与える刺激とは逆方向のベクトルで刺激を脳に伝えるわけです。高知市の市民講座は講座時間が約九十分なのですが、講座の後半になって



くると、みなさんとても疲れてきます。これは、筋肉が疲れているからではなく、脳が疲れてきているのですね。

顔ヨガではお顔が若返ったように引き締まり、今まで気になっていたシワやたるみが気にならなくなってきたという方は多くいらっしゃいます。もちろん、表情筋が鍛えられて引き締まり、綺麗になるということもあるでしょう。しかし、やはり外面では測れない、内面へのアプローチだったり、口腔衛生への意識だったり、脳トレ効果などが顔ヨガの持つ素晴らしい側面であると思います。

私は現在、年に三〜四回ほど高

知市の地域の公民館などで顔ヨガ講座を担当させていただいています。顔ヨガ講座は、毎回たくさん笑いに包まれます。生徒の皆さんからも良い刺激をたくさんいただき、私も本当に楽しい時間になっています。そして、帰りの生徒さんの笑顔がとても素敵に輝いているのを拝見するにつけ、顔ヨガの素晴らしさを都度、実感しています。顔ヨガを通じて、健やかに幸せな人生を送れますように。顔ヨガインストラクターとして、皆様に心よりエールを送りたいと思います。

### 大崎あつこ

一九七五年 千葉市出身。  
結婚を機に高知市へ移住。高知県初の顔ヨガ協会認定インストラクター。顔ヨガ、ハタヨガ、マタニティヨガ、産後ヨガを指導。市民講座をはじめ、各種イベントや企業向けヨガなどで活動中。  
[www.inakayoga.com](http://www.inakayoga.com)

# 高知市民の大学 第88期の総括

田中 きよむ

今期の総合コースでは、「障がい児・者の生活を通して地域福祉のあり方を共に考える」という全体テーマの下で、七名の県内の障がい福祉関係者の方々に講師をお願いしました。

わが国においても、障害者権利条約の批准や障害者差別解消法の制定・施行などによって、障がい児・者の生活の自立と社会参加に向けた制度的環境が整えられてきています。そのような政策動向を検証し課題と対策を探るうえで、障がいのある人々の高知における地域生活条件を考えていくうえで、それぞれの障がいの理解と生活実態を見据えた現状を学ぶことが大切であると考えられます。本講座シリーズは、多様な障がいの

特性を学ぶとともに、高知県における障がいのある人の生活、就労、まちづくりなどの現状と課題を探ることを目的としました。

第一回「全世代型社会保障改革をめぐる動向」・第二回「地域共生社会と四国各地域における地域福祉の動向」・第三回「障がい者権利条約と障がい者福祉」（高知県立大学 田中きよむ）では、社会保障・地域福祉の全体的動向と分野別政策動向を見据えつつ、障がい児・者の人権と福祉の関係を論じました。第四回・第五回「高次脳機能障がいの概念と地域生活支援・家族支援(1)・(2)」（南国中央病院 宮本寛）では、診断・治療・生活支援において制度の谷間にある高次脳機能障害の特性と地

域生活支援のあり方についてご講演頂きました。第六回「重度心身障がい児の子育て」・第七回「重度の障がいのある児者とその家族を支える地域支援」（NPO法人みらい予想図理事長 山崎理恵）では、重度心身障がい児の発達に向けた貴重な子育て経験と、それをふまえた地域支援の取り組みをご講演頂きました。第八回「ひきこもりの支援」・第九回「隠れた障がいへの支援」（高知県立精神保健福祉センター所長 山崎正雄）

においては、ひきこもりの当事者や発達障がいのある方の心の苦しみに寄り添った「あるがまま」を尊重することの大切さをご講演頂きました。第十回・第十一回「みんなで協同子育て！(1)・(2)」（特別支援教育士 久武夕希子）では、

気になる子どもとの肯定的な関わり方について、参加者同士の対話を取り入れた具体的なご講演をして頂きました。第十二回「障がい者から見た障がい者雇用」（高知県立療育福祉センター主幹 吉岡邦廣）では、ご自身の体験をふま

えて、障害者権利条約の「合理的配慮」が根付く職場づくりの重要性についてご講演頂きました。第十三回・十四回「知的障がい者の方たちと共に歩む立場から」（社会福祉法人昭和会理事長 山崎隆）では、子どもが愛しいと思える親子の関係づくりや、同年代の人との暮らしにより元気を取り戻せる拠点づくりの展開についてご講演頂きました。

総合討論（山崎理恵・山崎正雄・山崎隆・田中きよむ）では、障がいのある人々を世の光として、地域社会のあり方が変わっていくことが、「障がい」が「障がい」でなくなることにつながり、それは、障がいのある子を愛しいと思える親子の関係性が、施設を含む地域の中で広がっていくことを意味することを確認し総括としました。

たなか きよむ

一九六二年 滋賀県大津市生まれ。  
高知県立大学社会学部福祉学教授

# 「アンテナ」 娘と挑んだ 欽ちゃんの仮装大賞

下尾 仁



周波数を合わせば、いろんな人と出会い繋がることができる。アンテナを高くたてて沢山の人と繋がる。

娘が中学一年生の時、思い出作りに欽ちゃんの仮装大賞に出てみないかと話しかけた。すると意外にも娘は、いいよと言ってくれた。

「えっほんまに〜」心の声

それから僕は、アイデアを考え桃太郎を題材にした作品で応募してみた。書類審査は合格。作品を見てもらう予戦会場は高松。僕はピンクのスパッツを履き、桃となる太ももを「桃から生まれた桃太郎」とパカッと開き娘の足の裏に書いた赤ちゃん桃太郎がオギャーと生まれ、娘の手、足などを使いながら成長し鬼退治に行く作品を披露した。

すると審査員は「なかなかいいじゃないですか、だけどこれお父

さんいらないうんじやない」と言われた。家族じゃなかったらこんなこと言わないんだけど、娘さんが

一人で出たら、ひよっとして入賞するかも、もしよろしければ、娘さん一人で出来る作品に作り直してみないかと提案された。僕は、「わかりました。よろしくお願いします」と本戦出場のキップを手

に入れた。が、しかし娘はお父さんと一緒に出るきやつたのに、一人は恥ずかしいとスネだした。それから本番まで三カ月程、娘の機嫌をとるのとアイデアの考え直し、道具作りなど、なかなか大変であった。本番一カ月前にはわざわざスタッフが東京からのくらしい仕上がりしているかチェックしてきたので、スネていた娘もやるしかないという雰囲気になっていた。それプラス東京に行ったらデイズニールランドに連れて行くこと

約束して娘をやる気にさせた。本番前日に東京入り、空港までお迎え、ホテル、ご飯も用意してくれ至れり尽くせりであった。リハールが終わったあと一組ずつ順番にスタッフとの面談があり、質問をされた。質問に僕が答えているとスタッフは「お父さんは黙っていて下さい。ステージに立つのは娘さん一人で、もし欽ちゃんが質問した時にお父さんはステージにいませんよ」と言われた。

確かにそうだと僕は口にチャックをした。いよいよ本番、娘の出番は五番。それまで一番〜四番までは合格。ついに娘の出番がやってきた「新説、桃太郎」仰向けに寝そべり、作り物の桃がパカッと割れると足の裏に書いた桃太郎が生まれ、膝を立てるとおじいさん、おばあさんが現れ後ろ向きに足を上げると、ふとももの裏に成長した桃太郎、そのまま後転すると、おしりの所に鬼が現れ、立ち上がると、さらに成長した桃太郎と鬼たちが仲良くなり、めでたしめでたしで、おしまい。

さあ点数はどうだ。ピッピッピッピッと点数は上がっていきが十三点の所で止まってしまった。合格は十五点。ここからは欽ちゃんとのやりとり。なんと出し物より

も、こっちの方がウケ、ピッピッと点数が上がり合格!!

リハール終わりのスタッフとの面談で、娘がやりとりをしていたおかげでスムーズかつ面白く答えられていたのが本当に良かった。僕も合格してほっとした。

会場では、芸能事務所の人から芸能界に興味ないかとお誘いを受けたが、娘は興味ないですとバツサリ。一番楽しみにしていたデイズニールランドにも行き、帰路についた。

しばらく、学校でいろいろ言われ、思春期の娘はやっぱり出たくなかったとか言っていた。

月日は流れ去年二十八歳になった娘は、結婚。旦那さんの両親と会った時に仮装大賞の話になりあの時は嫌だったが今となっては出て良かったと言っていた。娘と挑んだ仮装大賞は僕と娘の宝物である。咲ちゃんありがとう。そして結婚おめでとう。

しもお ひとし

一九六九年生まれ。

岡豊高校一期生。二十五歳ぐらいに演劇に目覚め、日夜面白い事はないかとキョロキョロしている。

# 1月の事業から

## 「高知アートメッセ」

高知の若手美術作家の作品の展示と販売を行う企画展「高知アートメッセ」を、二〇二一年一月二十一日（木）～二十七日（水）、高知市文化プラザかるぼーと市民ギャラリー第一展示室で開催しました。

この事業は、これからの高知の美術文化を担う若い世代の作家を応援することを目的とし、作家を多くの人に紹介する場であるとともに、単なる鑑賞だけではなく、来場者に色々な美術の楽しみ方を提案する場を目指し、「美術のファン」を地域に増やしていくという取り組みで、二〇一八年度から実施し今回が三回目の開催です。

対象は高知県在住もしくは県出身の十六歳～四十歳未満の作家で、既定のサイズ内で容易に壁面展示ができる作品であれば自由に出品できます。販売価格は作家自身が設定し

ます。今回は五十名の作家から油絵、日本画、水彩画、写真、書、針金造形など、个性的で意欲溢れる一〇一点が寄せられました。

新型コロナウイルスの感染状況が収まりを見せない中で、作品募集ということもあり、出品数の減少を大変心配していましたが、例年程度の作品が集まりました。出品に来ていた作家からは「こんな

時なのに作品発表の場が設けられて嬉しい」という声をいただくなど、多くの作家がこのような状況下でも積極的に制作・活動を続け頑張っていることを、私たちも改めて感じました。

企画展では、作家のプロフィールやコメントが書かれたパンフレットを配布し、普段どのような活動をしているのか、ど

んな思いで制作にあたっていかなどを紹介しました。来場者は作品とパンフレットを交互に見ながら「この作家は県展でも見たことがあるね」「なるほど、そういう思いで描きゆうがやね」「この作者は高校生か、これからが楽しみやね」など、色々な話をしながら鑑賞していました。来場者からは企画展の感想



や「若い方のセンスが光り、応援したくなった」「たくさん作家が夢を持って制作に取り組んでいることを知り感動した」などの、作家の活動を後押しするような応援の声がたくさん寄せられ、三十三点の作品が購入されました。

今後もこの事業を継続させ、作家と鑑賞者を結び、高知の美術文化のさらなる活性化を目指していきたいと思えます。

〈来場者のアンケートより〉

・県内には素敵な作家さんがいらっしやるのが、この企画展で再確認できました。  
・みなさん感性を持って頑張っておられる事がすばらしい。今後に期待しています。  
・コロナ禍においての開催でも作品が集まっていて楽しませてもらいました。今回も小さめの作品が多く、価格も手頃なものが多かったが、購入するまでに至らなかったのが残念。もっと思い切った作品も見てみたい気がします。

〈入場者数 三三四名〉

# 高知市文化振興事業団

## 第一九三回市民映画会

令和三年一月十四日（木）、十五日（金）にかかるぼーと大ホールで第一九三回市民映画会を開催しました。

市民映画会は、高知では公開されていない文化の薫り高い劇場画を低廉で提供することを目的に、一九五一年に始まり、これまでに四百三本の映画を上映しています。

今回の上映作品は「ジョーンの秘密」と「スペシャルズ」でした。

「ジョーンの秘密」は、イギリス史上最も意外なスパイの実話を基に描かれた作品。二〇〇〇年、八十代の老女である彼女は、半世紀以上前の第二次世界大戦中、ケンブリッジ大学で学び、核開発の機密任務についていた。当時その機密情報をソ連に流したという容疑をかけられた。彼女に何があったのか紐解いていくスリリングな物語。最後に明らかになる真実で彼女の選択は正しかったのかと

考えさせられる。

もう一つの作品は、「スペシャルズ」。最初から最後まで障がいのある子どもやドロップアウトした若者に対して見返りを求めず、ただ幸せになることを願ってひたむきに行動する主人公たちの姿は、実話というにはあまりにも出来すぎた人物に見えるが、話の途中で挟まる他愛ない会話でいい意味でも悪い意味でも



彼らの人間臭さを垣間見ることができる。そういったシーンがちりばめられていることで、障がいという重くなりそうなテーマでも、常に沈んだ気持ちにならずに適度に感情移入しながら観られたのが非常に良かった。色々なキャラクターが登場するが、主人公は一貫してあらゆる意見を受け入れていたし、上から押さえつけることはしていなかった。細かい所ではあるがそういった描写の積み重ねで、好感のもてるキャラクターに仕上がっていたと感じる。政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男たちの実話の副題にある通り、政府に潰されそうな施設を守るために奔走する話で、認可されていない施設というところがポイントだったと思う。同じような問題はどの国でもあり得る。ということを変更して気づかされた。実在の人物をモデルに作られた作品であり、善意だけで人のためにこんなことを知っている人がいることを知ることができただけでもこの作品を観たことは大きな意味があった。

アンケートでは、それぞれの考えを持って真剣に感想を書いた方が多かった。二作品とも主人公たちの選択に賛否が分かれるところだが、あえてそういう描写にすることで社会について考えてもらうようにしたのではないだろうか。今後も市民映画会では心に響く良質な映画を上映していきます。ご期待ください。次回は、六月十八日（金）、十九日（土）に開催します。アメリカ映画界の名女優たちがパワーと笑いを届ける「また、あなたとブッククラブで」と、マレーシアを舞台にした感動の物語「タレントタイム 優しい歌」の二本です。お楽しみに。〈入場者数 三百六十九名〉





## 高知を撮る

第36回写真コンテスト入賞作品

南国土佐を後にして (平成31年 3月14日 高知市仁井田新港) 松木 宣博

客船「飛鳥」の出港の見送りです。よさこい踊りなどを披露した後、紙テープで見送り客とお別れです。また高知へのご来訪をお待ちしています。

昨年に県内十三カ所で開催された高知アートプロジェクトの報告会に参加した。高知アートプロジェクトは、地域の資源を活用し、今後、地域に根付くことを期待する新しい文化芸術活動を助成する事業である。本年度は、各団体がコロナ禍ならではの知恵と工夫で、目新しい芸術と文化を県民に届けていた。

土佐町の地福寺で開催された音楽祭は、窓を開放し、外でもモニターで鑑賞できるようにした。夜須町の野外コンサートは、検温した人にはリストバンドを巻いて識別した。馬路村では、コロナ禍で来高できなくなった料理研究家に代わって急遽スタッフで調理した。赤岡町の冬の夏祭りのスタッフは、「コロナでもうできないか」と思ったけれど、何とかみんなで力を合わせてできました。手作りの地蔵は今も商店街に飾っています」と安堵の笑顔を見せていた。

主催者たちは細心の注意を払い、例年とは違った苦勞を重ねて実施にこぎつけていた。お客さんから良かったことのご意見があったその一方で、スタッフに対し、ご意見や苦情

の電話が相次いだという報告も。中にはいわゆるクレマーという人たちもいた。私も仕事柄、苦情電話を受けることがあり、四時間クレマー対応をしたことがある。私の仕事とは直接関係ない現政権への不満や商売の仕方が気に食わないと持論をまくらしたる人たち。根拠や調査に基づくものではない一個人の考え方を、延々聞き続けるのは辛い。どのクレ

## クレマーさんへ



### 風俗歳時記

ムも最後は、コロナが広がるじゃないかという批判。ある意味その心配は正しいことかもしれないが、文化活動でも商売でも、新しいことをやろうとする人たちは、周りの人に元気になってもらおうという志を持っており、クレマーは、そうした人たちのやるのも事実である。

高知を元気にすることは、頑張っている人を応援するということでもある。相手を傷つける持論をくっつき我慢することも応援につながるのではない。溜まったストレスを好き放題発散するクレマーによって、芸術文化の振興にブレーキがかからないことを切に願う。(立花香)



## 桂九雀・桂文我 落語会

文我師匠による子どもも楽しい落語会と、九雀師匠による落語会のほか、九雀師匠に指導を受けた落語ワークショップ参加者による発表会を開催します。

日 時：2021年3月7日（日）13:30 開場 14:00 開演

会 場：高知市文化プラザ かるぼーと 小ホール

入場料：一般 2,000 円、高校生以下 1,000 円 ※当日券は各 500 円増

主催・お問い合わせ：公益財団法人高知市文化振興事業団 088-883-5071

左：桂文我 / 撮影・御堂義乗 右：桂九雀 / 撮影・佐藤浩

## 風 伯

### 「カタカムナ」

も発行され、ネット上にも多くの情報が出ていて知っている方も少なくないかも知れないが、知らない人にはほとんど都市伝説としか思われていない面もある。

なぜこんな「カタカムナ」に関心を持ったかというところ、この歳になって、畑仕事をしたいと思うようになった。それも草を抜かず耕すこともしない自

先日、知人が開催するというので「カタカムナ講座」に参加した。最近この謎の多い「カタカムナ」に夢中になっている。簡単にいつしまつと、縄文時代以前の「上古代」の言葉でアシア族が使っていたとされ、古事記の初めごろの説話は、カタカムナの影があるとの話もある。

「カタカムナ」はいまでは一般書籍

然農法での畑仕事である。我が家の食糧自給率を高めようという気持ちもあるが、なによりも自然を壊さずに持続可能な野菜作りができることに魅力を感じた。

そんな自然農法をいろいろ調べている内に「カタカムナ」を知ることになった。「カタカムナ」では土地によってイヤシロチやケガレチという言葉があり、病気がちになったり、野菜や果物の生育が悪かったり、道路が破損しやすかったり、よく魔の踏切だといわれる場所はケガレチの特徴を示しているといひ、たとえば昔からある神社のほとんどの土地はイヤシロチだったという調査もある。その土地の地力上げるために炭を地中に埋める。これを道路工事に応用する会社があるなど、なかなか興味深い。

「カタカムナ」自体の真偽のほどは分からないが、それに則った不可思議なことが現実として存在するのは確かだよ。

(霖)

## 第73回 高知市展 講習会のご案内

5月29日（土）から、かるぼーと7階市民ギャラリーで開催される「高知市展」。この市展を主催する高知市展執行委員会の各専門部では、市民の皆さんに芸術を身近に感じていただくとう講習会を開催します。この機会にぜひ、新しいことにチャレンジしてみませんか？専門委員が丁寧にレクチャーします。

<p>4月24日⑤ 心のままに描くこととて、新しい自分を発見してみませんか？ ⑤ 3,000 円 ⑥ 4月4日～⑤ ⑦ 3,500 円 (材料費等込み)</p>	<p>誰でもできる 抽象画講座</p>	<p>筆を使わず 自由に描こう</p>	<p>5月8日⑥ 筆でなくても絵は描ける！身近な材料でモデルを描きます ⑥ 4月4日～⑤ ⑦ 3,500 円 (材料費等込み)</p>
<p>4月18日⑥ 色紙に好きな字を清書して作品を作ってみましょう ⑥ ⑤にて受付中 ⑦ 1,500 円 (材料費等込み)</p>	<p>書の小作品を作ろう！</p>	<p>「和の涼」 団扇に花の絵を描く</p>	<p>5月9日⑥ 日本画用の絵の具顔料を使って団扇に花の絵を描きます ⑥ 4月4日～⑤ ⑦ 3,000 円 (材料費等込み)</p>
<p>3月2日④～ テラコッタ粘土で全身像を制作し、素焼きして仕上げます ④ 受け付け終了 ⑤ 10,000 円 (材料費等込み)</p>	<p>彫刻講習会 全身像コース</p>	<p>彫刻講習会 頭像コース</p>	<p>3月30日④～ デッサンを元に粘土で頭像を作り、石膏で仕上げます ④ 受け付け終了 ⑤ 10,000 円 (材料費等込み)</p>
<p>4月29日・30日 5月1日 スタイロフォームを素材に自由に作品を作ります ④ 受け付け終了 ⑤ 1,000 円 (材料費等込み)</p>	<p>彫刻講習会 抽象コース</p>	<p>作陶体験会</p>	<p>3月28日⑥～ 粘土をこねて、器や置物など思い思いの作品を作ります ⑥ ⑤にて受付中 ⑦ 5,000 円 (材料費等込み)</p>
<p>4月11日⑥ 布に染料を染みこませて型紙の模様を写して、オリジナルの作品を作ります ⑥ ⑤受付中 ⑦ 800 円 (材料費等込み)</p>	<p>型染めて持ち物を染めよう</p>	<p>まんが家体験 ブレまんが絵師 Lesson</p>	<p>4月24日⑥ 手ぶらで参加OK！プロと同じ道具でまんがが家気分を味わってみませんか？ ⑥ 4月1日～⑤ ⑦ 500 円 (材料費等込み)</p>

講習会の詳しい内容やお申し込みについては、公益財団法人高知市文化振興事業団まで  
TEL:088-883-5071 FAX:088-883-5069  
<http://www.kfca.jp/kikaku/>

## 今号の表紙

### 「春のお知らせ」

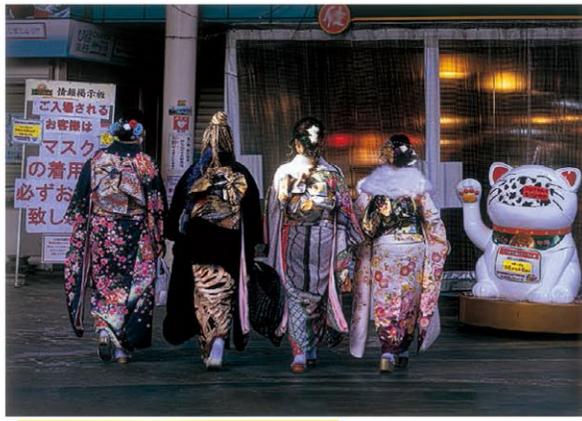
大崎 結衣

冬には寂しげで色のない印象があります。

てんとう虫と周りの葉だけ色を付けることにより、暖かく明るい春の訪れを表してみました。

(おおさき ゆい /

国際デザイン・ビューティカレッジ1年生)



記録写真部門～平成以降の部～ 準特選 「コロナ禍の新人」 石本 律代



I LOVE 高知部門 準特選 「ヤマモモの丘」 濱渦 修一

このコンテストは、過去から現在に至るまでの高知県内の出来事や風景、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考えていこうというものです。今回、「記録写真部門」と「I LOVE 高知部門」にご応募いただきました317点の作品の中から、特選4点、準特選20点を含む入選作品65点を展示します。高知の懐かしい風景や出来事、人々の暮らしを記録した写真や、撮影者の好きな高知を表現した写真など、さまざまな高知の姿をご覧ください。

日時 2021/3/16(火)～3/21(日)

午前10時～午後5時 ※16日火は、表彰式を行う予定です。

会場 高知市文化プラザかるぼーと 7階 市民ギャラリー・第4展示室



主催・お問い合わせ

公益財団法人高知市文化振興事業団  
〒781-9529 高知市九反田2-1 TEL.088-883-5071  
http://www.kfca.jp/kikaku/

- 高知駅より
  - 電車でとさでん交通 はりまや橋下車 徒歩3分
  - バスでとさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分
  - 車で5分
- 高知インターチェンジより
  - 車で10分
- 高知龍馬空港より
  - 車で30分
  - 空港連絡バスで30分 はりまや橋観光バスターミナル下車 徒歩1分

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症予防策として、来場時は、マスクの着用、入り口での手指の消毒、非接触式体温計による検温、連絡先の提供等にご協力いただきますようお願い申し上げます。



かるぼーと

# 高知を撮る 入選作品展

第37回 写真コンテスト

入場無料